脳卒中・心臓病等総合支援センター

■ センターの特色

本センターは、三重県における脳卒中・心臓病対策の中核拠点として、県、市町、医療機関、介護・福祉機関等と連携し、循環器病患者およびその家族に対する包括的な支援を推進している。相談支援、疾病や再発予防に関する情報提供、地域住民への普及啓発、医療従事者への教育・研修に加え、ICT を活用した遠隔医療や地域医療連携の推進を通じて、県全体の循環器診療体制の向上を目指している。また、心不全再入院予防や循環器病の重症化予防など、行政・医療・介護が連携した「オール三重」の取り組みを推進している。

1. 当センターで行っている活動・支援

- 脳卒中・心臓病患者および家族に対する相談窓口の設置
- 再発予防・疾病管理・療養生活に関する情報提供
- アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を含めた意思決定支援
- 心不全をはじめとする循環器病の疾病管理支援
- 心不全管理アプリ等を活用した自己管理支援
- 地域住民への予防啓発活動、市民公開講座の開催
- 医療・介護・福祉職を対象とした研修会・講習会の開催

2. 支援体制

病院長および関係診療科・部門の協力のもと、センター長を中心として医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、公認心理師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療通訳、事務職員など多職種が連携し支援を行っている。総合サポートセンターを相談支援の窓口と位置づけ、県、市町、保健所、地域医療機関、介護・福祉施設等と密接な連携のもと、患者・家族に対する切れ目のない支援体制を構築している。また、三重県脳卒中・心臓病等総合支援センター連携協議会を設立し、県内の関係機関との連携を強化することで、地域格差の少ない循環器診療体制の整備を推進している。

■ 活動実績

1. 相談窓口の活動・支援実績

- 脳卒中・心臓病について、外来・入院を問わずすべての患者・家族に対して医療や福祉相談、生活上の様々な悩みなどの相談を、総合サポートセンター窓口または電話で受けている。
- 各診療科と他部門(緩和ケアセンター、小児・AYA がんトータルケアセンター、血管ハートセンターなど)とも連携を図り、治療に向けた患者の心理的サポートや ACP の支援も実施した。外来では入院中に行っている心臓リハビリカンファレンスの内容や脳神経外科・循環器内科・脳神経内科合同カンファレンスの内容を元に、病棟で実施している退院指導のパンフレットの理解について再確認し、退院後の実際の生活状況を聞き取り、困りごとなどの対応や、生活指導に努めている。
- 再入院が決まっている患者についてはセンターで支援した内容を入院当日に病棟看護師とカンファレンスを行い、必要な情報共有を行っている。
- 脳卒中相談窓口では、日本脳卒中学会に認定された脳卒中療養相談士が中心となり、医療連携・地域連携パス、介護・福祉・家族支援、リハビリテーション、心理サポート、両立支援、疾患・服薬・食事管理、地域包括ケアセンターとの連携、経済サポート・生活困窮者支援、障害者手帳などについて、合計 772 回の情報提供や相談支援を行った。また、将来の医療やケアについて脳卒中発症患者や患者家族が意思決定を行うための啓発動画をご視聴いただく活動を実施した。
- 令和 8 年 1 月、センターに三重県脳卒中連携看護師会を発足し、3 月に 34 施設が参加する第 1 回連携会議を開催した。この会は脳卒中に対する医療及び保健、福祉の連携体制を確保するとともに、脳卒中患者の包括的な支援体制の充実強化を図ることを目的としている。
- 心不全患者の自己管理支援を通じて再入院予防につなげる取組みである「心不全管理アプリ(ハートサイン)」の使用状況の確認、サマリシートの運用、並びにアプリ使用時の困りごとに対応した。また、心不全手帳利用者に関しても診療科と連携を図った。
- 多施設共同研究「回復期・維持期における心不全患者サポートの課題抽出を目的としたアンケ

ート調査」に対する協力として、心不全患者および介護者へのアンケート調査を実施し計 76 件の回答を得た。

- 心不全患者への緩和ケア：院内緩和ケアチームは専従の緩和医療専門医(HEPT 終了)、精神科医、認定・専門看護師、公認心理師などで構成され、プライマリチームの依頼を受けコンサルテーションを行っている。がん患者のみでなく治療抵抗性のステージD心不全患者をはじめとした難治性循環器疾患患者の全人的苦痛の緩和に寄与している。(心不全患者への緩和ケア管理加算取得)。県内医療者対象に意思決定支援に関する研修会を開催し ACP の普及に努めている。
- 小児循環器は全国に先駆けて先天性心疾患および小児期・若年期から成人期(妊娠、出産を含む)までのシームレスな循環器病に対する診療支援を行っており女性患者の妊娠前カウンセリングを成人先天性心疾患外来と共に実施した。
- 学校心臓検診の県内の DX 化、標準化に向けて県と連携して学校心臓検診クラウドシステムを全国に先駆けて 2027 年度開始予定で準備中である。移行期医療について、成人先天性心疾患総合修練施設として 2025 年に全国初めて設置された移行期医療学講座と連携し、県内の医療機関からの相談・受け入れの実務を支援した。
- 医療ソーシャルワーカーによる活動・支援：入院・外来患者やその家族の不安に寄り添う相談支援を実施している。地域の医療機関への転院調整や退院後の療養生活に関する具体的な助言を通じ、ＱＯＬ向上を支援している。また地域のかかりつけ医や福祉・医療機関との連携を強化し、患者・家族が安心して地域で暮らせるよう支援を行っている。
- 三重県ライフスタイルサーベイ：リハビリテーション部では三重県在住の 20 歳以上 2000 人を対象に 2025 年 12 月インターネット調査会社を通じて三重県民のライフスタイル調査を実施した。加齢に伴い生活習慣病や循環器疾患が増加した一方、若年層では身体活動不足、孤独感、ストレス、睡眠不足が目立った。高齢層では食習慣や精神的健康は比較的良好であったがデジタル格差が認められた。

支援内容

相談内容	件数
1. 医療連携・地域連携パス	245
2. 地域包括ケアセンターとの連携	1
3. リハビリテーション（外来含む）	110
4. 心理サポート	2
5. 両立支援（仕事・就労・復職）	2
6. 両立支援（就学・復学支援）	3
7. 緩和ケア（ACP を含む）	6
8. 疾病情報の提供	559
9. 社会システムの提供	19
10. 経済的問題(または不安)への支援	6
11. 障害者手帳認定の支援	12
12. 家族支援	20
13. 訪問診療・訪問看護または在宅療養	4
14. 主治医やかかりつけ医への不満	6
15. その他	12

2.地域の医療・福祉機関との連携実績

- 三重県脳卒中・心臓病等総合支援センター連携協議会開催
- 三重県脳卒中・心臓病等総合支援センター連携協議会 実務者会議開催(2 回)
- 日本脳卒中医療ケア従事者連合(SCPA-Japan)三重県大会開催
- 脳卒中に関連した研究会(7 回)
- 脳卒中に関連した市民公開講座(3 回)
- 脳卒中に関する医療従事者対象の講演会(2 回)
- 就労支援リハビリテーション調査(StrokeⅢ)および薬剤退院時指導調査(StrokeⅥ)参画
- 脳卒中連携パスカンファレンス開催(2 回)
- 三重県脳卒中医療連携研究会参加(3 回)
- 三重県脳卒中連携看護師会開催
- 循環器に関する県民・市民公開講座開催(3 回)
- 東海心血管エコーセミナー開催
- 循環器に関わる地域医療機関・かかりつけ医を対象としたセミナーや連携会議の開催(2 回)
- CADASIL 市民講座開催
- 厚生労働省指針準拠研修「本人の意向を尊重した意思決定支援のための相談員研修会(E-FIELD)」
  第 1 回 2025 年 8 月 25 日(49 名終了)
  第 2 回 2026 年 3 月　8 日(44 名終了)
- 学校心臓健診講演会・小児循環器談話会開催(2 回)
- 地域連携研修会開催(6 回)
- 他大学病院・県内医療機関からの事業見学(2 回)

3.地域への周知活動

- 健康ハートの日に合わせて、当院をテーマカラー(赤)でライトアップし啓発活動を行った。
- 世界脳卒中デーに合わせて、当院と伊勢大鳥居、伊賀上野城をテーマカラー(インディゴブルー)でライトアップし、啓発活動を行った。
- 県民・市民公開講座で来場者にパンフレット等の啓発資料配布を行った。
- 津市の健康まつりに参加し、来場者にパンフレット等の啓発資料配布、センター周知活動および健康相談等を実施した。
- イオンモール津南にて他センターと協働し、来場者にパンフレット等の啓発資料配布、センター周知活動および健康相談等を実施した。

HP https://www.sv.hosp.mie-u.ac.jp/noushin-center/